

前回会議における意見に対する回答

- 不断の取組＋重点取組に分けて考えており、重点取組は都庁で言うリーダーシッププロジェクトだと思う。ボトムアップ（現場の取組）とトップダウン（先行事例）とに分けて考えるのは良いと思う。

→「3 取組体系 （3）取組種別」で、各取組の定義・考え方を整理

- 現計画の取組状況は公表しているか？区民からすると「何が向上したか」が知りたいのではないかと。計画として、区民の方に見せた場合に区民生活がどう変わるか、その視点で体系立てられると良い。また、「課題への対応の視点」と施策が紐づくると良い。

→区議会で取組状況の概要を報告

→「2 持続可能な行財政運営指針 （2）課題に対する基本姿勢」

その他に、「本指針がもたらす暮らし（行政）への影響・変革」とした、本指針の区民サービス及び職員への影響・変革を示したページの作成を検討中

- 課題の整理に奥行き感があると良い。課題を中長期的・短期的に仕分け、例えば短期的な施策であっても、全体として区民にリターンが来るという視点が必要。中長期的な課題についても、今から対策をすることで、より少ないリソースで大きなベネフィットを与えることが大事。

→「3 取組体系 （2）期間に対する取組設定」で課題期間を設定

- 区民等へのわかりやすさも大事。共通認識が持てるよう、具体的な表現を用いて解像度を上げる必要がある。例えば、具体的な姿として「持続可能な状態」とはどういうことかがわかりやすく表現できると良い。

→「1 策定の背景 （3）持続可能な行財政運営の必要性」

また、「本指針がもたらす暮らし（行政）への影響・変革」とした、本指針に掲げる取組の実現後の姿がイメージできるページの作成を検討中

- UX(ユーザーエクスペリエンス)のうち、EX(エンプロイヤー=職員)がないと動いていけない。EXの向上が、CX(カスタマー=区民)の向上に資するということを重視した方が良いのではないか。

→ 「2 持続可能な行財政運営指針 (2) 課題に対する基本姿勢」

「3 取組体系 (1) 取組体系の設定」

「3 取組体系 (5) 重点取組のKPI一覧」

- 職員の意識を高めるのであれば、人事評価における一定の成果報酬等が必要ではないか。そういったものがないとモチベーション向上につながりにくいのでは。

→ 「3 取組体系 (5) 重点取組のKPI一覧」内「9.デジタル人材の育成」において、意見を踏まえた多角的な視点でのモチベーション向上案を検討中

- DX化にあたっては守りのIT投資と攻めのIT投資がある。攻めのIT投資だけでなく守りのITのバランスが大事ではないか。

→ 「3 取組体系 (4) 取組体系一覧」内「9.DX推進体制の構築」において、職員のデジタルリテラシーについても記載することを検討中